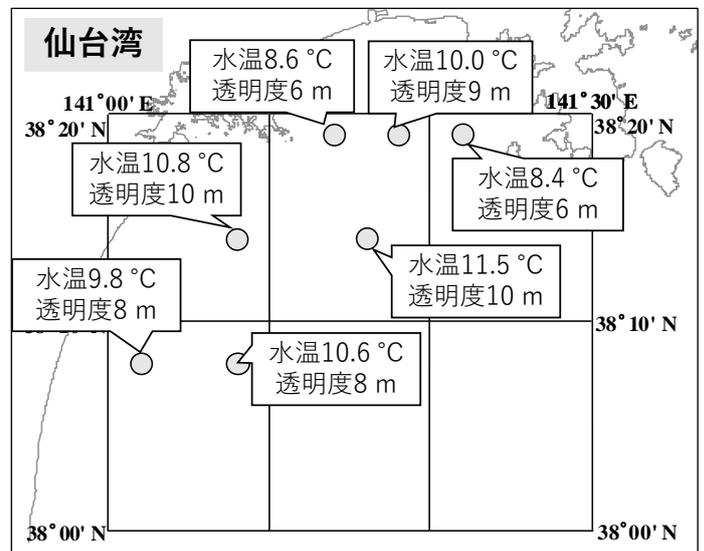
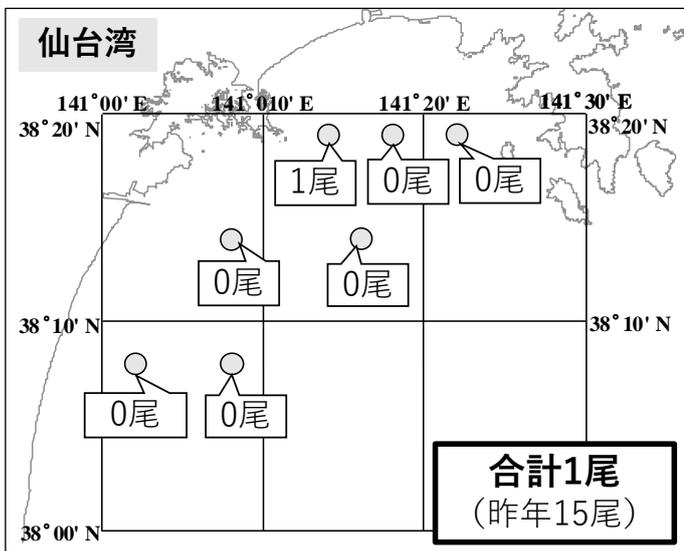




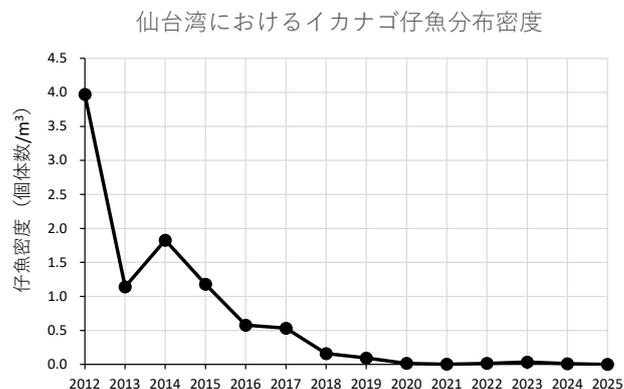
- ・令和7年2月12日に、仙台湾7定点でイカナゴの仔魚調査（丸稚ネット表層5分曳網）を行いました。
- ・採集されたのは1尾（昨年15尾）のみであり、分布密度は **0.0007 個体/m³** とこれまでで最も低い値となりました。
- ・表面水温は平均 10.0℃（8.4～11.5℃）と異常な高水温であった昨年と比べ低くなっています（昨年平均 13.1℃、一昨年平均 9.9℃）。
- ・採集されたイカナゴの体長は 7.1 mm でした（2012～2023年の平均 6.1 mm）。
- ・牡鹿半島周辺の仔魚調査は欠測とさせていただきます。
- ・次回は3月に稚魚調査を予定しています。

【地点ごとのイカナゴ仔魚採集尾数及び表面水温・透明度】



●イカナゴ仔稚魚の分布密度の推移

本年度の調査結果は、近年の不漁年と同程度の低い水準であり、仔魚の密度はこれまでで最も低い値となりました（右図）。



海況情報は
こちら
をチェック



気象庁
日別海面水温



海況予測システム
FRA-ROMSII
(水産研究・教育機構提供)



JAFIC会員サービス
(漁業者のみ、要会員登録)

